

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 27 年 2 月 26 日 (2015.2.26)

【公開番号】特開 2014-100290 (P2014-100290A)  
 【公開日】平成 26 年 6 月 5 日 (2014.6.5)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-029  
 【出願番号】特願 2012-254051 (P2012-254051)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 26 日 (2014.12.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

音声を出力する音声出力手段を備え、該音声出力手段から音声を出力させる音声演出を実行する遊技機において、

遊技者が操作可能な位置に設けられ、前記音声出力手段から出力される音声の音量を調節する音量調節手段と、

前記音声出力手段から出力される音声の音量をデフォルト値として設定可能な音量設定手段と、

遊技機に供給される電源電圧が遮断された場合に各種制御情報を記憶保持する記憶手段と、

特定条件の成立時に前記記憶手段の記憶内容を初期化する初期化手段と、

待機中の図柄変動ゲームが存在しない場合に生起される待機状態中にデモンストレーション演出を演出実行手段に実行させる演出制御手段と、を備え、

前記初期化手段による記憶内容の初期化が終了した後に、前記音声出力手段から音声が出力される一方で、前記初期化手段によって初期化されたことが報知されているときは、前記音量調節手段による音量の調整が反映されず、

前記デモンストレーション演出は、第 1 デモ演出と該第 1 デモ演出の終了に伴い開始される第 2 デモ演出から構成され、図柄変動ゲームの始動条件が成立するまで、前記第 1 デモ演出と前記第 2 デモ演出が交互に繰り返し実行されるようになっており、

前記第 1 デモ演出の実行中に前記音量調節手段による音量の調整が前記音声出力手段から出力される音声に反映されるようになっており、前記第 1 デモ演出の実行中に調節された音量は、前記第 2 デモ演出を介して再度前記第 1 デモ演出に移行した際に前記デフォルト値に戻されることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記音量調節手段は、前記デフォルト値を基準として予め定められた範囲内で調節可能に構成されており、

調整可能な範囲には、前記デフォルト値を基準としたときに、当該デフォルト値よりも大きい上限値と当該デフォルト値よりも小さい下限値とによって定まる範囲を含む請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記問題点を解決する遊技機は、音声出力する音声出力手段を備え、該音声出力手段から音声出力させる音声演出を実行する遊技機において、遊技者が操作可能な位置に設けられ、前記音声出力手段から出力される音声の音量を調節する音量調節手段と、前記音声出力手段から出力される音声の音量をデフォルト値として設定可能な音量設定手段と、遊技機に供給される電源電圧が遮断された場合に各種制御情報を記憶保持する記憶手段と、特定条件の成立時に前記記憶手段の記憶内容を初期化する初期化手段と、待機中の図柄変動ゲームが存在しない場合に生起される待機状態中にデモンストレーション演出を演出実行手段に実行させる演出制御手段と、を備え、前記初期化手段による記憶内容の初期化が終了した後に、前記音声出力手段から音声出力される一方で、前記初期化手段によって初期化されたことが報知されているときは、前記音量調節手段による音量の調整が反映されず、前記デモンストレーション演出は、第1デモ演出と該第1デモ演出の終了に伴い開始される第2デモ演出から構成され、図柄変動ゲームの始動条件が成立するまで、前記第1デモ演出と前記第2デモ演出が交互に繰り返し実行されるようになっており、前記第1デモ演出の実行中に前記音量調節手段による音量の調整が前記音声出力手段から出力される音声に反映されるようになっており、前記第1デモ演出の実行中に調節された音量は、前記第2デモ演出を介して再度前記第1デモ演出に移行した際に前記デフォルト値に戻されることを要旨とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記遊技機について、前記音量調節手段は、前記デフォルト値を基準として予め定められた範囲内で調節可能に構成されており、調整可能な範囲には、前記デフォルト値を基準としたときに、当該デフォルト値よりも大きい上限値と当該デフォルト値よりも小さい下限値とによって定まる範囲を含んでいる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】